



頁八刊月紙本

本紙一ヶ月分前金五十五錢
定額一ヶ月分前金五十五錢
廣告料(十五字詰)一行二十錢
場所選定二割増
發行兼編輯兼印刷人 江尻 登
東京府下巢鴨町宮下一四五五
東京市神田區西小川町二ノ六
印刷所 立教大學内武藏野學會社
東京府下池袋、電話小四〇九

社説

武藏野學會

會員に告ぐ

人間萬事終生悉く野心を追ふて
走る。
大鷲の高く青空に雄飛する時、
王將の采配と度暗雲を動かす時、
そこに何か一大抱負が無ければならぬ。單一なる目的物無くして徒らに紆餘轉變の行動に出づるならば目的物の達成せざるは必定、終生の希望を一機に覆へすものである。されど如何に名將采配を揮つて三軍を叱咤すと雖も諸卒各々其命に叛き、一致共同敵に當る事を忘れたならば、勝敗は實に火を見るよりも明かである。上に猛將軍在りて尙然り。殊に陣頭に立つて采配を振ふ兇將軍無くして只各自自由平同以て共同事業を爲さむとする吾人は徒らに區々たる感情問題に拘泥せず、目的物に向つて一致共同の精神を眼目として進まねばならぬ。

昔赤穂の浪士四十七人、小勢を以てよく其の大目的を達成し得たのも、日露の大戦に於て日本が貧弱なる軍備を以てよく世界の強國

露西亞を撃破するを得たのもこれ一に各人の間に灑れる舉國一致の精神の賜物に他ならなかつたのである。
翻つて西歐の往時を觀れば、西曆十三世紀の初め、英國に於いて當時の暴君ジョン王の猥りに王權を濫用し、人民より不法の徵税を行ひ人權を抑壓し致へて過酷なる政治を行ふに際し、貴族僧侶は勿論人民は殆んど舉國一致の狀を以て飽迄暴君に對抗し遂ひにマグナカルタ(大憲章)を承認せしめ大いに王權を抑壓し人權保護を確保せしめたではない乎。又十九世紀佛國に於てもチャールス十世や貴族僧侶の爲長い間苦惱の連鎖に繋がれし人民の國家制度を改革せねば止まぬと言ふ大目的の爲めに一致共同以て大突撃を行つた結果、苦境に泣ける人民の叫び聲は觸ては大革命の勃發となつて、舊制度を片端より打ち毀したではないか。當時の兩國の心理狀態を觀るに一は暴君を憎み他は舊制度を呪ふの別こそあれ、其の間に於いては何等政黨的の色眼鏡も無ければ個人間の小競争も無く只一筋に目的物に向つて猛進したのみであつた。

恐る可き哉 舉國一致の力
然らば吾人の目的、果して那邊に存するか。人間は總て己が國家或は學校とか自分に最も關係深き事物の他より誤てる見解を受くるに際し悪感を催し甚だしきは他に對し憎惡の念さへ起るので、之れ

論説欄

希望の春を迎へて

新らしき十二年の春を迎へて、
我々立教健兒は大いに過去を反省すると共に將來の大なる希望を抱負し眞剣な態度と自覺とを以つて進んで行かなければならぬ。三四年來本大學が一般社會に割合に認められ、卒業生も大なる歓迎をされつゝ實社會の人の群の中に勇進して行くのを見る時、我々は先輩諸兄の過去に於ける多大の努力に感謝し、益々我々の責の大なるを感ぜずには居られない、大學の統治者及び教授諸氏先輩諸兄が今の立教大學の名をなすに至る迄の苦心と努力は大なるものであつたに違ひない、前號に於いて、久保田商學部長が記載された様に、立大の卒業生と云へば何れも人物は

人間天然性の然らしむる所である。吾人も矢張り此の例に漏れず、此處に於いて我會の創立せし者なれば、吾人は意を此處に至し、誤られる立教スピリット及びゴシックの中に秘められた深遠なる美點を廣く社會に宣傳すると共に新大學令に依る豫科一年殊に武藏野會員は率先して立教スピリットの向上を諮らねばならぬ。
果してその成ると成らざるとは一に吾人の舉國一致を以て進むか否かに依つて赤き火山の冲天に火を噴くか或は雪を頂ける地山の石となるかに分岐さるゝのである。
余が夫を評するなら丁度塵界を離れた谷間にスツクリと立つてゐる白百合の様である、その崇高で純眞な事は勿論あの雄大な武藏野の一角の美しい赤いゴシックの校舎で日々勉強してゐる精もあるかもしれないが又立教には階級制度と云ふ様なむづかしい官僚的な氣分は見ひ出そうと思つても見ひ出す事が出来ないだから學生と先生達及び上級學生と下級學生等の間は云ふ事の起きない温い平和の親しみがある事はお互に如何にも氣持のよい事である。
それから缺點と云ふ可き點は前に言つた通り生き生きとした元氣が缺けて居やしないかと云ふ事である、この青春の時代に最も必要な元氣を今少し充滿させなければならぬ余は斷はつておく。或る學校で見受ける様な殆ど野蠻人に近い蠻勇でない事である、男らしい純なる勇氣が望ましいのである。
それからすべての學課に努力してもらひたいのは言ふ迄もない事であるが、立大の最上誇りとしてゐる英語學の方面にもつと實際的に大努力しなければならぬと思ふ。近頃立教の學風としての紳士的ハイカラを踏み間違へたのか一

自覺を新たにしてみらひ度いのである、先づ立教の學生は他の大學の學生に比べて眞に紳士的であると云ふ事を斷言する。夫から學生が比較的着實で地の大學の學生が如何なる事をなそうとも驚かず、ねたまず平然と夫等のサーアークルの外に立つて見てゐる事である。
余が夫を評するなら丁度塵界を離れた谷間にスツクリと立つてゐる白百合の様である、その崇高で純眞な事は勿論あの雄大な武藏野の一角の美しい赤いゴシックの校舎で日々勉強してゐる精もあるかもしれないが又立教には階級制度と云ふ様なむづかしい官僚的な氣分は見ひ出そうと思つても見ひ出す事が出来ないだから學生と先生達及び上級學生と下級學生等の間は云ふ事の起きない温い平和の親しみがある事はお互に如何にも氣持のよい事である。
それから缺點と云ふ可き點は前に言つた通り生き生きとした元氣が缺けて居やしないかと云ふ事である、この青春の時代に最も必要な元氣を今少し充滿させなければならぬ余は斷はつておく。或る學校で見受ける様な殆ど野蠻人に近い蠻勇でない事である、男らしい純なる勇氣が望ましいのである。
それからすべての學課に努力してもらひたいのは言ふ迄もない事であるが、立大の最上誇りとしてゐる英語學の方面にもつと實際的に大努力しなければならぬと思ふ。近頃立教の學風としての紳士的ハイカラを踏み間違へたのか一

見如何にもキザな華美なスタイルの學生諸君を見受けるがそれ等の諸君は立教在來のハイカラ風と當世流の嫌なハイカラとを間違がへない様に覺つてもらひたいのである。

余の今差あたり思つてゐる事柄だけを以上述べて見た、要するに我々は冷静なる眼を以つて過去の歴史を反省して確實なるスタンスポイントの上に立つて各個人努力を精勵しなければならぬ、これ等が固まつて母校の前途を明かに益々輝いたものとする事であらう。

學課の方に運動に立教獨特のリバイを體一杯呑みこんで發展して行く可きである。そこに我々の前途の尊い何かを見出す事が出来るであらう、すつと前の時代の大學生はどちらかと云ふと空想的な學問をしてそれで満足し社會もそれを許して來たのであるが現今ではそれでは許されぬ、無論空想も必要である事は實際だが、今一步進んで現實化した方法をと

らなければならぬ。長い大學生活と云つても學校へ出る日はほんとに僅少なものと云はなければならぬ、この残り多い時日を最も有効に過すべきである。遊んで居ると云ふ事も無益な事ではないがそれだけでは決して満足出来ない各自の最も好きな而も有益な何かを眼をつむつて考へ込んでばかり居ないで實際的に活きたものとなしければならぬ健康を第一要素として、そして強いより強い充實した人間性をこしらへて社會へ飛び出す準備が必要である。信仰に生きる人は幸福である、幸ひ立教がクリスト主義の學校であるからこの方面を研究する

鐘が鳴る 鳴る——武蔵野の青空に——自由の美しい學園に希望と抱負と力強い響を與へて流れて行く、そしてその流れは燃ゆる青春の奥底に高いサウンドの波を立て、刻み込まれるであらう、覺めよ健兒よ——立教の——(記者)

にも一頭角を顯はし居るのである。然れ共平面なき立體の成立すべきものではない。茲に怪しむべきは三偉人とも境遇を異にしその思想行爲を異にし居りながら期せずして均しく平面にのみ陥り居る點である、レーニンの無政府主義、共產主義は立體なき平面である。アインシュタインの相對性原理も亦立體なき平面であるガンヂの無抵抗主義もやはり立體なき平面である。

平面なき立體の成立せぬが如く、立體なき平面の永續すべきものではない、政治運動としても平面的自由平等とか無政府とか共產とかを強ひて實行せんとすれば強に強力なる立體力を要するが故に其體格的強力は暴君專斷政治となるのである。佛國の自由革命に於て却て暴君獨裁のナポレオンを出したるが如く露國の無政治共產主義の革命に暴君獨裁のレーニンを出したる事は何よりの證據ではない乎。

とと同時に其英國の困却して如何とすべからざる危地の來る事ありとせば其時こそ無抵抗と云ふ抵抗力は大暴發して英國を驅逐し甲度自ら獨立自主たるの立體的大抵抗力となり來るのである。

ある程その利用法にも考へる可き點が澤山ある。今の様にこんなに込入つた世の中では廣告物の作成には非常な理智と費用とを要する、商業界で廣告物の著しく優れてゐる商店や會社はきつとその事業に於いても著はれてゐると云ふ事は確かな事である。

廣告物の利用法 數年來總べての社會に於て廣告術が長足の進歩發展をしたと云ふ事は誰もよく認める事であらう、殊に商業界に於いては最も顯著な事である。

今こゝで新聞や雜誌等の上の廣告法を除いた他の廣告的に就いて述べて見よう、それには人間の心理狀態或ひは建造物との關係風致上の利害等考へる可き必要なきことが種々ある。

ボスター！看板等の廣告物を何う云ふ様に配置すべきかと云ふ點に於いて先ず前記の三つが必要である現在の商行者の多くは若し廣告物を手に入れた時これ等を配置すべき適した空所がないかと云ふ事を考へる。これだけでは折角立派なボスターや看板も死んだものになつてしまふ、これを今一步進んで何う云ふ場所へ配つたら人の注意をひき好感を與へるか、建築物を對稱して廣告物との色、光線、釣合、大小、高低等の關係及び風致上の觀察を調査してそれを配置しなければならぬ。

舶來の三偉人觀

レーニン・アインシュタイン・ガンヂー

古 人 生

近時新人とか偉人とかと呼ぶるゝ人が多くなつて來た様だ。少しく突飛な行爲をするか奇抜な言辭を弄する輩には直ぐに尊稱が符牒かは知らぬが此種の名稱を奉る傾向がある。商品の薄利多賣は賛成するが新人偉人の安賣は眞平ゴ免だ。

學理に於ても亦然り、アインシュタインの平面的相對性原理は更に進んで中心性原理の起り來たる今日の境遇としては時代相應なる眞理の把持とすべきも永久に持續し得べきものでないものである。其無抵抗主義と云ふ事が、既に抵抗しつゝあるのである。此無抵抗を以て英國に抵抗し英國を困却せしむ

切れぬ密接な關係のあるものであつて、學校に講堂が無いと云ふ事は、我々學生に取つては恰も自分の片腕が振き取られた様な工合に、な

事是我々本校の學生として甚だ遺憾に思ふ次第である。學校は學校の生命たると同時に、又學校は學校の生命たると同時に、一日も早く本校の生命を希望して此の原稿に本大學に校歌の校歌が書かれてあるが實は英語の校歌も遺憾とする次第です。(記者)

學校當局に對する希望

第一に講堂のない事、第二に校歌のない事、第三に校舎の見よ、體育館を見よ、食堂を見よ、と云ふ事は、無意味な事を強う、殊に最近電氣時計とかが掲げられ、ゴシック風の建物と調和が取れて、又一段と見栄えがする云ふものである。然るに、一度翻つて、講堂はど

の所無いのだと、返答するより外に仕方がないのである。これだけ校舎を持つ學校でありながら講堂が無いと云ふのは、……と言つて、我々學生に取つては恰も自分の片腕が振き取られた様な工合に、な

先、講堂を設立せられん事を、學校當局に對し熱望する次第である。第二に本校に校歌がないと言ふ

事是我々本校の學生として甚だ遺憾に思ふ次第である。學校は學校の生命たると同時に、又學校は學校の生命たると同時に、一日も早く本校の生命を希望して此の原稿に本大學に校歌の校歌が書かれてあるが實は英語の校歌も遺憾とする次第です。(記者)

學藝欄

歌舞伎劇の道

野村 清

口にする者が多くなつた世界に於て特殊相対性理論と一般相対性理論との二つを理解して居る者が幾人あらうか、イギリスに於ては不

歌舞伎劇が兎もあれ現代に於て日本演劇界の最も重要な部分を占めてゐるのは近代人の歌舞伎劇鑑賞が依然として傳統的な死型に満足してゐるからである、現在の歌舞伎劇が近代人の要求にびつたりする程しかく近代藝術の核心にゐるからでもない。無論國民性の深處に喰ひ込んだ歴史的根據に棄て難い執着を感じる事も事實だが私に言はせれば此劇様式中に近代人の藝術欲求を満すに十分の感激を盛り得る筈だといふ確信が一般の人々の間に起りかけて來てゐるのが最も直接な原因だと言ひたい。

めた事を意味するので型に對する態度一つで演古るされた脚本にすら全く新しい生命を盛る事ができるのである。然るに「型」が屢々甚だしく現實離れのした荒唐な誇張感や寧ろ滑稽な不自然さを觀者に與へるのは先人の型に自分を盛りきれないからである、先人の解釋で張りきつた彼の片隅だけが理解できないからである。「型」を撤ぐ俳優と俳優「自身のもの」との間に密接な關係がなくては「型」は張り子に過ぎなくなる、明治八年に發狂して死んだ五代目市川門之助や明治十九年に死んだ六代目仲藏やは共に型知りの權威だと言はれた人達であるが彼等の「型」を眞の意味で生じたのは彼等に教を受けた後の團菊であつたといつた事實は餘程興味ある事ではなけれども、歌舞伎劇はゆきつまつた、來るところまでは來てしまつたといふ嘆聲を聞いてからももう随分古い事になるが此の中には明らかに「型」が無意義に踏襲せられて空洞となり果て九代目團十郎や五代目菊五郎等の人形だけが無感激な繰り芝居をするといふ面白なきが最も多分に含まれて居るのを思ふ。「型」には精神が溢れてゐねばならぬ、型そのものが俳優の内にあるもので發洩たる生氣を以つてゐねばならぬ、源之助や傳次郎の何とも言へぬ潤落が型の死骸を抱く人々の痛々しい潤落である。

「型」ばかりの歌舞伎劇の没落であるとみられる。「型」が死んで歌舞伎劇は死にかゝつた、行き詰つたといふのも當然である、私も今更ながら明治四十四年から大正の初年にわたる新劇の勃興に促されて歌、伎が如何に動搖したかをおもつてみたい。或る者は寫實的傾向を更に強調して象徴と寫實との調和を得やうと試みた。或る者は西洋劇が頻りに紹介せらるゝ機運に乗じて西洋流の科目劇に引直さうとした、現在ですら其方面に努力してゐる幾多の劇作家俳優がある、が然し彼等の目塔は歌舞伎劇本來の成立條件に悖るものであるが故に、現在の様式を全然他の様式に改める勇氣を持たぬ限り畢竟失敗に終るべき運命を荷つてゐる。仁左工門、六代目菊五郎等の歌舞伎劇に於ける寫實味が如何に往々不愉快な不調和を起すか、伊井、河合等所謂新派劇の人々が試みた歌舞伎劇（私はこの人達が近松研究劇を上演しはじめた當時の事を馳ながら想ひ出している）が如何に食ひたらない科目劇だつたか、かくて此劇様式は救ひ難き混沌に落込んでしまつたのである。

市街でも古くよされた商家の内外に赤や青で採色された美しいボスターや看板が無造作（これは前に述べた條件によつて）懸けられ釣られ貼られてあるのを見ると、著しく對稱物との釣合不合理が現れて却つてみにくい、悪感情と悲哀を感じさせられる、それを少し考へてしたならば非常に氣持のよい感情を與へ又その廣告物も立派に活きたものになるであらう。好感を與へる店はきつと繁昌するところは請合ひである、又廣告物の考へもなく矢鱈に唯人目を引く事のみを慮つて電柱、板塀、石垣、樹木等に貼りつけるのは風致上悪い事である、由しその貼つた當時はよいとして日の経つに従つて雨風や泥塵の爲めに破れ禿けて實に見苦しい殘骸となつてゐるのは一般に眼につく事であらう。

斯く迄發達しつゝある廣告物を今一段進んでその利用法を考ふ可きであると思ふそれ等の物を無意義なものとしなげ様に「社會經濟課記者」

秋 早高理科S.T.生
一 秋の山邊の木末から
可愛い、小鳥の叫び聲
枯木の間にこぼまして
遠い谷間に消えて行く
秋じやさびしいよしてくれ
二 落葉の秋がさびしいか
お前の親がぬくとてか
血を吐く様な聲あげて
なんでその様に叫ぶの
秋じやさびしいよしてくれ

感情も嵐のやうに強い意志も些の無理がなくその中に盛られてしまふ、殊に吉右衛門の「型」を形成す

原理に關する一書を求め縮き呆然とした男女兩性相對して艶語する原理を説けるものと考へたからである。近時學生の行動が輕佻浮薄に流るる事を思ひ慨嘆に堪えぬ。

は余に次の如く語つたことがある荷も那視學ともある可き地方教育の主腦者が余に對して立教大學とは僧侶學校であるかと質問された。余は彼の視學の甚しき無識な

立教の商科は創立以來比較的良が淺くして未だ十回の卒業生しか社會に送てゐない故に、社會の目に映する本大學の存在は比較的微妙かも知れぬ。然しながら立教の

いで後の見苦しい殘骸の事を思つて餘程細心の注意を拂つてその廣告物の利用法を改善してもらひ度いものである。商界の事でないが議員の選舉等によつて徒らにその名刺殘が各場所に貼られてあつてその選舉の終つても尙ほ破れておられた紙片が電柱や石垣の表に残つてゐるのは甚だ考ふ可き事である。其の他宣傳ビラにしても何んにしても澤山注意すべき事がある、皆各自注意さへすればそんな缺點もなく充分にその廣告物の利用を完或する事が出来るのである。そしてそれが早く言へば各自の利益になつてくるのではなからうか。

る。事實恐らく誰の歌舞伎劇より彼等の歌舞伎劇は観て面白く又最もすぐれた現代劇から受けると同様の或はそれ以上の感激を十分に受くる事が出来るであらう。私は吉右衛門の道に歌舞伎劇の正道を見出す、従つて現代の歌舞伎は彼の足跡を追へばよいのである(少し過激な、妙な警句だが)と言ひたい、換言すれば歌舞伎劇は現代劇の影響から早く脱れて獨自の城壁内に閉籠りさいすれば、現代劇のなかつた猿若町時代の芝居に早く戻りさいすれば、往時の歌舞伎名優がしたやうに型の世界に自己の全部をたゞき込む事に懸命でありさいすればよいといふ事になる。

然し最後に考へてをきたいのは、型に自己を盛るといふ事其自身を持つ危険性である、即吉右衛門等の往々にして陥る「ひとりよがり」「獨之居」になつてしまふ事である、これは良舞臺監督が良脚本かに俟つより他に仕方がない、歌舞伎劇(一般的に劇に通ずるのだが)に脚本の良いのがほんとうに少ないといふ事はどんなにこの劇の進歩を妨害してゐるか、ついでこの頃帝劇をみた時に中車が「名大島譽強弓」のやうな悪い劇を演じてゐるのを見て心から残念におもつたものであるがしみじみと小團次に於ける黙阿彌の如き作家の出現を望むのである。

兎もあれ私は最近歌舞伎劇の混沌時代を一步踏み出して正道に一般が目覺めてきたと同時に、前に

も述べた如く、この様式中に十分の感激を盛り得る確信がつきだした徴候を取寄せずにはゐられぬのである。

私はこの劇様式を愛す故にたゞ一人の吉右衛門、たゞ一人の雀右衛門、しか有せぬ事を淋しくはおもひながらもこの機運を喜ぶものである。

一九二二・二二・二〇

ア ト・オプ・ラブ

關 隆

晩秋の街は暗い影に暮れて行く、薄濁つた空が、ふかぶかと重たい夜の空気を吸ひはじめ。

「やあ今晚は」

「今Y町で降りてZと来たところ、どこへ？」

Kはスラスラと言ひ放つた。

「三河屋まで一寸」と言つたが、Kは彼女のもどかしさうな様子を

見て、

「河岸の方へ行かない？ 今日逢ふとは夢にも想はなかつた」とかう言つて、二人は繪巻の中から、抜け出したやうな、美しい人々の顔が糸を手ぐるやうに、後から後からと、續いてくる中を抜けて、T河岸へと出た。

「あなた酒を召上つていらつしやうなつて」

「さうでせう」

と、のぞく様にいはれたので、Kの心には、一寸彼女の氣持をいだき、せてみたい様ないたづらさが起つてきた、——でまさか、細い

銭が入用で、癖のドンコ飲みをやつたとも言ひたくないの、

「わからぬ——」と言つて彼女の横顔を心持のぞいた。

「え、わかりますともはじめの言葉で」とはつきり言つて頸をかし

け、

「さあ、三本位」と微笑して追ひ

かけてたづね出した。

「どこで飲んでいらつしたの」と半分甘えるやうに附加へた。

身があたりあたつて来たせいか河端の柳をかすめる、ひや寒い風がKには氣になつたので、トンドの襟を立て乍ら、

「もときで一寸やつて来たの」と、彼女の次の句を待つた。

「人の世の義理とかいふものは」と彼女はしばらく黙つてゐた後で

「つらいもの——でも自分の行く道はよくわかつてゐますの、

……ほんとに、この頃一つ二つ習ひ覺えた小唄など、そらうツと、爪弾きでやつては自分の聲に涙するの、……氣狂ひじみて

るつて……一口言はれるのが、關の山ね」といつてすぐ

「のんぢやいけないつて言ふんじやないのよ」

と言ひかけて、自轉車のベルに氣がついて、Kの外装を軽く引いた。

「今日は眞面目な話だめね、さうさう」と吐息の調子で……だが、なんとなく力強く……。

Kはそしらぬふりで、

「郊外から、しばらくぶりで東京へ来てみたが、川つぶちの柳まで、

ホコリだらけ、……」と少し浮いた足どりで言つた。事實一合拵で二つヒツカケただけで、いくらかいゝ氣持ち位の處なのだが——。

「随分皮肉ね、いゝことよ」と、言つて、

「あぶない足付ね、轉んだらどうなるの」

「きつと、だれか、起してくれらな、フ・フ・フ、この身の冥利が怖ろしい、とか何とか——」

「あんまりあなたはうぬほれ過ぎだよ」と軽い口調で彼女は彼の肩をおさへて言つた。

かうして歩いてゐるうちに、

二人はいつとなくS橋の方へ曲らうとしてゐた。

「あら、あなた、ポツツと手にさわつたわ、雨ね、……あそこから電車に乗つて？」

今日はこんなぢや駄目！ 後になつてきいたつて、みんな忘れ

たつて言ふんでせう」

とほんとうにたよりのない、寂しい様子でいつて、川にうつつたS座の陽氣な灯をじつとみつめてゐるのであつた。

選手月旦評

商學部豫科一年 東城 正君

吾人は毎日午後の體育館内に春の素羅里とした見るからに快調な若人を見出すのが常である。此好個の若人こそ我が東城君其人である。君は競技部の關將北澤君と同じく明治中學の出身にして、

中學當時は野球の選手をしてゐた。昨春立教に入るや直ちにバスケットボール部に入部し未経験なバスケットボール競技を練習した。由來立教バスケットボールチームは此の競技の先覺者にして又日本代表的名選手野村憲夫君の心血を注ぎし指導のもとに今日の様な隆盛を來したのであるが、君も亦野村氏の熱心なるコーチに依つて、昨秋關西遠征の際に抜きんでられて早くも選手となり西國の野に勇戦力闘して我立教軍のため大なる勳功を樹てたのであつた。今や立教チームにはなくてはならぬ宿將となつてしまつた。君がガードとして今日 地位をなしたのも名コーチの指導に依ること大なりと雖、よく天賦の體軀を利して不撓の努力をしたればこそ未経験なる競技に君をして短日月に天晴れ立教代表選手としたのであつた。これを以て君が如何に練習に熱心なるかは想像に餘ることと思ふ。君の體軀はアスリートとして最も適はしいヘルメス型(五種競技型)に屬する立派な體格の所有者なのである。又バスケットボールの外に陸上競技も伎倆を有し殊に走巾跳走高跳ホ・ス・チャム

(以下第五頁五段へ續く)



Coffee Tea Served as they should be.

西洋菓子

紐育ベーカリー

池袋豊島師範裏通

顧問 本居長世

音楽教授

自田音楽院

池袋一、一六六(紐育ベーカリー横)

新刊書籍と雑誌

美しいエハガキ

池袋豊島師範裏通り

大地屋書店

社告

今般立大武蔵野學會本部を本大學西寮一號室(玉井俊夫)に變更致しました。此段讀者諸君に御通知申し上げます。一月八日

ムサシノ新聞

Coffee Tea as they sho

池袋豊島師範裏通

自田音楽院

池袋豊島師範裏通り

大地屋書店

池袋大原一、三八〇狐塚

カフェーピンク

此段讀者諸君に御通知申上げます 一月八日

ムサシノ新聞

大野信三氏渡歐獨留學

氏は大學出身の教授

二月上旬横濱解纜へエーゼル號にて

大野商學士は今般經濟及び歐洲文化研究の目的を以て渡獨留學さるる事に決定した、二月四日頃横濱解纜の北ドイツ、ロイド汽船會社のベエーゼル "Veser" 號にて出發途中上海、マニラ、香港、シンガポール、ペラ灣、コロンボ、ポートサイドヂエノア、ロツテルダム、アムステルダム、ハンブルグ、等に 港四月二三日中にブレームンに到着上陸後四月廿日頃にベルリン大學の經濟學部にて一年餘研究次にライン河畔のボン大學經濟學部にて約二年在學、専ら經濟學を研究歸途は歐洲文化を視察後伊太利のナポリ或ひはローマ大學にて半ヶ年程留學歸朝せらるゝ豫定である。

氏は北海道出身の人にして上京

波獨さるゝ大野信三氏



後本大學を二年前に卒業後只管本大學に教鞭を取られて居るが立教が生んだ天才として前途大いに囑望せられつゝある人物である。性質は學者肌の常として温厚で大の努力家にして又熱烈なるクリスチヤンの一人である。

他日訪問の本社記者に對して靜かな顔の奥に微笑をたゞへつゝ曰く、『何んと云つても割合短期間の留學ですから出来るだけ努力する決心です、それから最初から講義を會得するのは困難ですからね』と始終謙遜の態度で以て語られた。然し何處かに努力の跡と堅い決心の様子が見えた。

記者に武蔵野新聞を通じて氏の御意見を承はる事と約して辭した。

尙ほ次ぎの如きお別れの言葉を本紙を通じて發表されたが氏の教授法は徹頭徹尾學生に對する愛を第一條件として居られる事が表はれて居る。

過ぐる二年間無意識の裡にも次第に重疊して居た感情の波が、此訣れと言ふ唐突無情な暴風の吹き廻りで、我と我が胸が怪しむ許りに、突然大きく動いて、思ひと筆とに些しの落付きをも與へて呉れない。先づ悔恨の情が頻りに胸の汀に押し寄せては碎ける。勢ひの激しい時には自分は自分の無智と無能と怠惰で眞理と愛と努力に渴した諸君方を毒して、永久に癒す事の出来ない深い痛手を負はしたのだと怒號する。一言も無い。確かに私は愛する人々の胸に燃ゆる斯う言ふ火を目撃する凡ゆる機會を多分に有ち乍ら如何ともし得なかつたのだ。其れ故愛せる人々、共に歩んで常に鞭撻ささして下さつた諸君に對する此訣れの辭は、私が茲に表示する此の涙と悔ひとでなければならぬ。涙幾度か教室から歸つて人知れず咽んだ自の無能を意識と之に伴ふ絶望の涙。然かも此の涙を生かす術を知らないで再び教壇に立つた後の悔ひ。幾度か私の學究生活は恥の生活だと感じた。其れにも疑はず、笑顔と努力で悔と涙に足の重い私を鼓舞して呉れた諸君には、何れ程自分の心は感謝しなければならぬ事だらう。事實私に今其の爲に斯慶告白を敢てする學問上のピルグリメーヂに上る勇氣の出たのも、畢竟斯うした諸君の奨勵の微笑と努力に惟れ據るものである。

共に學びし愛する人々に。

赤と俄の萊茵河畔を逍遙つて居る際でも、紅の大陽と緑りなすオリブのナボリの地を踏む折りで、之の丈は決して忘れてはならないのだ。何故なら此の目的は斯う言ふ過ぐる日の涙と海を、貧しいながらも永遠に通ずる途とさへ思はれる努力に依つて、幾分たりと少なくすると言ふ事に他ならないからである。

此訣れに當つて共に學んだ愛する人々に残す言葉は之れだけである。理想と自由の爲めに翳つた愛する諸君が、理想と主義に生きずしては人生の無い事は、愚かな私の口を籍らすとも知られる事と思ふから。私は何處にあつても諸君の學生々活の成功を祈らして戴く。さらば(大野)。

別項記載のアドレッセは私が獨逸に着いて自分の住居を定める迄のもので、之が確定しましたら直ぐに此通知致します。

最後に我等學生は氏の御健康と御成功を祈つて止まない次第である。

大野氏の送別會はマケツクニ教授歸米の送別會と共に廿四日午後一より本大學食堂大廣間で盛大に舉行せられた。

尙同氏の洋行先の御住所は左の如し。(P 記者)

Herrn P. T. Ohono,
Bei Frau Professor Gily
Berlin, Seglitz Schloess Str.
33, II., Deutschland.

宣言

今村 忠 宣

今度私達學生二人が冬期休暇を利用して朝鮮滿州支那比律賓の各地に亘る旅行を企てました。

私達二人は各自學校の辯論部或は新聞學會其他各種團體に關係すること數年に及びますので大體現代青年學生の有する思想は了解して居ます。今迄にも内地各地方に亘つて演説或は講演を試むること數十回に達して居ます。惟ふに現在日本が各國より人は排日運動より小は日常の活動にも日本に對する嫌惡の情が見ゆるのは誠に我々青年に取つては遺憾な次第であります。

此處に於て私達は衷心よりの叫

を以て新日本青年の理想を中外に宣傳することは眞日本を丁解して貰ふ爲めのみならず一步進めて各國民と共に親善の實を擧げ得る事と信じます。

加ふるに東亞に於ける歐米人の文化事業は書物を通して見るに實に全きもので之に引きかへ日本人の文化事業には何等敷へ上ぐべきものの無いのは實に遺憾に耐えない次第であります。それ故に親しく此等を見學して歸京後各地に於てこの實見談に加ふるに理想を以て輿論を之に向はせる様努力いたしたいと思ひます。次に私達各地を遊説して驚くのは地方の人家が年々殖え農家は其の子弟を將來如何にするかと云ふ問題起り小作人のみでなく中農の人々も皆多くの子弟を如何にすべきに悩まされて居るのを見或は聞いて居ります。

之は内地の商工業を一層盛にすることも必要と思ひますが移民と殖民に待つ處大なりと思ふのであります。然るに各地に於て聞く處は「故郷を離れ移民が果して如何なる生活をして居るか不安である」と云ふことであります。偶々移民會社或は之に關係ある團體の人々が遊説することがありますが多くは何等かの利益にするものが多くて一般の人々は之等の言を信じない傾があるものであります。故に私達は學生として利益に依つて意見を左右しない學生として最も公平に皆の者が信じて得る様に各地移民の情態を視察して歸つて報

告したいと思ひます。今度の目的が果せましたら近く又南洋、南米各地の移民地を視察して全國に亘つて遊説して海外發展のために盡し度いと思ふて居るのであります。

各地の文化、人情、風俗の研究各地排日原因の詮鑿等も皆之が爲にも必要な事と思ひます。又各地に於て出来るだけ多くの内外の名士を訪問し意見の交換を致して他日のために致し度と思ひます。

亞細亞の將來は亞細亞の青年の如何に依るものであります。私達は此の將來の亞細亞を双肩に擔ふ各國各地の青年の思想を知り近く大々的に提携して亞細亞恒久の平和のために盡し度いと思ふて居ります。それが爲めには亞細亞青年協會を起し亞細亞青年の中心たる青年學生の日本に遊學する人達のために最も理想的なる國際寄宿舎を建設仕様と思ふものであります。

人物を作るは學校のみでありません一つ寄宿舎に亞細亞各國各地の將來有爲の青年を集めて人物を作るに盡力することは亞細亞將來のために如何に有効なことでありませうか。

加ふるに又現代の一般青年は徒らに空言を弄し小天地に踞踏して怠弱の風其極に達するに當つて白雪嶺々寒氣淋漓肌を突裂く北滿の荒野より南、遠く椰子樹の繁る比律賓まで私達の足跡を印し以て滿天下の青年に敢て慨を示さんとするものであります。

學生欄雜報

最近アルベルトアインシュタイン教授來せしより相對性原理を口にする者が多くなつた世界に於て特殊相對性理論と一般相對性理論との二つを理解して居る者が幾人あらうか、イギリスに於ては不

可なる事柄アインシュタインと言つて居るさうだ近畿地方の某女學生は相對性原理を男女兩性に關する理論と誤解したのか、ア氏の該原理に關する一書を求め繕き果然とした男女兩性相對して艶語する原理を説けるものと考へたからである。近時學生の行動が輕佻浮薄に流るる事を思ひ慨嘆に堪えぬ。

之等のことを心に置いて私達はこの大旅行を企てたのばありませぬ。何卒十分なる御應援を重に

願上る次第であります。以上
大正十一年十一月

今村忠助君を送る

十二月一日午後八時三十分發の神戸行急行で我大學辨論部委員今村忠助君は早稻田大學の井原直美君と共に朝鮮滿洲支那を経て比律賓に亘る、日支親善のための大旅行に向つて東京驛を出發された。



人は誰れも彼れも互ひにこの二青年の大旅行に幸あれかしと願ふ様に見受けられた。發車前に東京驛改札口ホールで見送りに來られた永井柳太郎氏、雄辨社の加藤氏を中心一同記念撮影をして今村、井原兩君は車室に入り夫々兩君共出發の挨拶を車窓よりされた。言々皆青年の意氣と希望の化身に外ならなかつた。愈々發車に際して又早稻田新聞學會の寫眞班は再びフラッシュの攻撃を兩君に浴せ掛けられた。兩君は「都の北西」と萬歳の絶叫裡に暗の中へ消へた。希望と抱負に燃えた一瞥を後にして……

此の日、武藏野新聞學會からは武藤鈴木大の三君が君を東京驛に送ることになつた。八時三十分の發車が定刻前一時間に待合室に見送るで満たされた。今村、井原兩君は之等多くの見送人に取られ元氣よく誰彼に旅程などを話して居られた。そして見送

傳(於各地大學及諸團體)
一、各地青年思想の觀察
一、東亞に於ける各國の文化事業の見學
一、現代支那の文化と人情風俗の研究
一、日本の移民情態の視察
一、各地排日原因の詮鑿

△「立教第一」とは「小學」卷之一内篇に出て來る最初の言葉にして即立教人の意味である。過日徵兵検査の爲めに歸郷せし余の一友が余に次の如く語つたことがあつた。荷も那視學ともある可き地方教育の主腦者が余に對して立教大學とは僧侶學校であるかと質問された。余は彼の視學の甚しき無識な

冬季練習會

於帝大トラツク

大正十一年の秋のシーズンにはインタアカレツヂエイトや對明治學院、對拓殖大學の對抗競技で我が競技部も實に多事であつた。明治學院を一蹴し、拓大と大接戦の後、萬朝報社寄贈の優勝銀杯を獲得して武藏野の天地に凱歌を掲げた事は、漸く勃興して來た立教競技部をして曙光を認めたと云へやう。

大正十一年十二月二十三日より帝大トラツクに於てインタアカレツヂ主催で再季陸上競技練習會が開催され二十八日まで六日間嚴冬の寒空を物ともせず、歳末の忙しさも餘慮にして、集る若きアスリート群の群れ。立教競技部に於ても、北澤、松崎、別、花房、小西、仁村、野々村の七名参加して、斯界の猛者連と共に猛練習をした。かくして、北澤はハードル競技に就て日本高障礙記録保持者大久保氏やインタアカレツヂ高障礙記録保持者農大の森田氏よりコーチを受け、松崎、府はチャムピングに就て慶大芝川氏の懇切なるコーチを受け、又新進花房は早大選手平井氏に就て専心走高跳の型を研究をなし、仁村、野々村は投擲を

眞面目な、理想抱負と同等を重んじんとする熱心は決して微少なものでないと思ふのである。立教を僧侶學校と稱するは社會學と社會主義とを同一視するは何等異なる事はない。我々は萬事に於て、かかる浮薄の言語を弄せぬ様に注意すべきである。遠州に於て記者) 一一、二二、二九

かの十種競技の大選手慶大益田氏に就てコーチを受け各自大いに得る所多く、將來のよき資料となつた。二十九日には納會として、大正十一年掉尾の競技大會が催され二百米決勝に北澤力走よく三着となり四百米決勝には大剛坂入選手と接戦しつゝ二着となつた。仁村は回盤投に出場して、悠々二等となり新進の立教競技部のため氣勢を發揚した。やがては立教競技部も立派に發育して美事な實を結ぶ事であらう。

バスケットボール

新春の奮戦記

新しき大正十二年を向へて世は展蘇の香に陶醉する二日から五日まで四日間 Y C A チムナアヂムに於て室内バスケットボール大會が開催された。折しも關西のバスケットボール選手権保持者たる大阪 Y M C A チム東上してこの大會に参戦した。幾多の火花を散らす壯快なゲームが行はれたが、我が立教チームは三日に東京 Y M C A と戦ひ四十四對十六を以て敗れたるも、四日には巨人軍を二十四對八のアスコを以て屠ふり、五日には連日連勝の遠征軍大阪 Y M C A チムと大接戦を演じ、先ず第一回の四分の一戦に於て競合ひ兩軍とも僅かにフリースローにて得點しつゝ進み、第二回四分の一戦にて愈々戦ひ酣にしていづれが勝つとも豫想を許るされなかつたが、ハムタイム後は、次第々々

に大阪チームの疲勞に乗じて、壓迫して最後の四分の一戦に於ては全く我軍の蹂躪する所となつて、三十四對二十五を以て堂々三度の捷利を得たのであつた。この大會に於て我が立教チームの奮戦は實に目覺ましく、野村監督以下、大童の奮闘は立教健兒の眞隨を發露したものと云へる。當大會に出場せる立教チームメンバーは次の如し。

- 内山村崎西城木澤崎 (腫)
- 山橋野松小東佐中川
- G. F.W. G.

ピンボン部

(2)

ピンボン部は技其の物が小規模なる故に野球、テニス、の様に各シーズンには毎日午後からは必ず練習しなければならぬと云ふ事は有りませんからピンボンは一年中がシーズンです。去年からの近況を見れば以前に築地にあつたよりも部費も幾分は増し廣大な室を有し生徒も多數になり人も比較的素質のある方が易く選ぶ事が出来る様になり来たつたので少しくメンバーの上から見れば、餘裕が出来ましたが經濟上から見れば一日如何しても一打は使用しますから未だ充分では有りません。

向今年にはピンボン部も秋本河村兩幹事の努力に依つて聯盟にも入りましたから毎年の競技大會には

部としては成丈多數の出場者を希望し場慣れを仕て餘りに高き所には望みを掛けず手近な東京醫學專上智、慈惠院を完全に粉砕し去る計畫で選手一同も其の氣になり勵んで居ますし本校の重鎮既に豫一の大橋、豫、二の小林の兩兒は大會に出場して各四勝者迄になつた事がありますから立教ピンボン部の名を轟かせるのも遠からずと思ひます。

學生と勞働

近頃、學生が大分勞働問題に付いて、論じて居るのを聞いたり、又雜誌上で、意見を述べて居るのを讀んだりする事が、有る。是は世界の學者間に於て、此問題が重大視されて居る爲でも有らふが、又一方學生が漸次眞の勞働なるものを解し來たつた爲でも有るまいか。私は此事に付いては非常に興味を、持たずには居られない。勞働問題が社會から重大視されて來るに従つて、勞働者自身も向上せねばならぬ事は勿論の事では有るが、然し又、眞面目な勞働者が向上進歩の爲に努力せんとするに當つて一方には又、勞働ブローカーなる輩が出来彼等勞働者をして盛に悪化せしめて居る彼等は勞働ブローカーとして、或る者は書生の數人をも遊ばして居るが如き、立派な生活を立てて居り、彼自身も亦、假名して一度會社或は工場に、二、三日でも雇はれたら例へば彼の素性が、警察署から其の工場主などに通知され、解職に成つ

ても、先ず百圓は儲けると豪語して居る。私の親しい一勞働者は話して呉れた。何故其の位の金が手に入るかと其處迄私は聞かなかつたが、然し、喜ぶべき現象では毛頭無い。私の友人は此冬期休暇中、深川の場末に行つて、勤働者連と混ぢつて汗ミドロに成つて、仕事し、食事も總べて一緒にして來た様だが、無論友人にも何等の理由も無く、遊び半分にやつた事では無からうと思ふ。又一友人は同じく此冬期中、東京の某郵便局に行つて働いて來た。苦しかつたかと、尋ねたら「樂ぢやない。費ふのは樂だが儲けるのは苦しい」と、いくらかわかつた様な口振りだつた。兩者何れにしても勞働なるものの觀念に對しては、他の坊チャン式の學生よりは確に一日の長と成り得た。成る程私等は學生の身で有るから、學業を放棄して迄も勞働者の群に立ち入つて、勞働問題を研究すると云ふ事は勿論出来ぬ。僅に夏期、冬期の短い月日を利用して研究する迄の事だ。以上の様な色々な點から觀察して見れば、未だ前者二人などは其だ失禮ながら、勞働社會の極く一端を味つて來たに過ぎぬ。然しながら眞面目な考へを以つて研究するには、例へ、二、三日で有らふが何等かの防害も干渉も要らぬだらふ。(運動部記者)

待つてゐる

あたゝかい茶飯と

おでんが

皆様を待つて居る

立大食堂

カフェー牧野

御中食には

ミルク

御そば

パン和洋菓子

その他

立大食堂

鈴木

夜間撮影出張撮影

は迅速と鮮明で有名

革新したカメラ界?

現像、焼附、材料

その他御用命次第

池袋一〇三九番大興俱樂部横

進藤馬真館

筆一日も早くから事を希望して此の原稿に本大學に二不盡生投にあり書いてあるが實は英語の校に知られてない共學生の間に除り遺徳とする次第です。(記者)

ストーン式洋服

前 停 電 町 卷 鶴 込 牛

命 生 の 服 洋 は ル イ タ ス
の 店 弊 は ル イ タ ス
會 商 ン ト ス

番 十 八 百 九 千 町 番 話 電

米 國 シ カ ゴ

.....は 服 洋 た じ 應 に 求 要 の 代 時 新

店 服 洋 屋 島 高

地 番 三 十 ノ 二 町 挽 木 區 橋 京 店 本
番 一 十 八 百 千 橋 京 話 電
下 大 慶 町 國 田 三 區 芝 店 支
番 七 十 六 百 九 千 二 輪 高 話 電

▷ り よ 装 服 は 善 改 の 活 生 ◁

芝 區 愛 宕 町
三ノ五(御成門下車)

店 服 洋 川 小

番 四 九 八 三 芝 話 電

慶 應 義 塾
各 大 學 御 用

▷ へ 服 洋 は 造 改 の 裝 服 ◁

誠 實 と 勉 強

◆ 第 四 中 學 御 用 ◆

店 子 帽 認 公

屋 ダ マ ハ

町 騎 十 二 區 込 牛
前 門 正 中 四

信 用 と 好 評

◆ 立 教 大 學 御 用 ◆

い さ 下 出 御

(介 紹 御)

平 和

▲ 池 袋 一、一三二
西 洋 御 料 理

ミ ル ク ホ ー ル

支 那 料 理
▲ 時 計 工 場 横 ▼

價 格 低 廉
堅 牢 無 比 の 靴

製 造 販 賣 並 修 繕

朝 日 商 店

立 大 通 り
池 袋 一、一三二

◆ 温 かい 御 飯 み 物 ◆
◆ 美 味 しい お 菓 子 ◆
カ フ エ ー
芳 本
豊 島 師 範 前
◆ 御 晝 食 に 御 便 利 ◆
◆ 理 想 的 西 洋 料 理 ◆

每 週 金 曜 日 發 行
基 督 教 週 報

● 壹 部 金 拾 錢

美 しい 藝 術 の 世 界 と 幸 福 なる 宗 教 の 生 活 と に 生 き や う と な
さ る 方 の よ い 相 談 對 手 で す 希 望 の 方 は ハ ガ キ 申 込 な さい

東 京 京 橋 南 八 丁 堀
一 丁 目 一 番 地

基 督 教 週 報 社

電 話 京 橋 二 三 〇 三 番
振 替 東 京 五 〇 六 四 八

郊 外 池 袋 の 一 角 に 巍 然 と 聳 ゆる 三 階 の 洋 館 は 立 大 の 塔 と 共 に 前
者 は 常 盤 通 り 後 者 は 廣 い 武 藏 野 原 野 に 富 容 の 峰 と 共 に 異 彩 を 放
つ て り ま す 。

仕 立 迅 速 各 學 校 御 用 西 山 洋 服 店

支 店 東 京 池 袋 一、一 一 六
本 店 九 段 坂 中 央
電 話 九 段 四 六 六 四 番

新 春 の 光 を 浴 び て

立 大 學 生 諸 彦 の 萬 福 を 奉 祈 候

■ 本 年 も よ ろ し く お 願 致 し ま す
■ 確 實 〓 ス タ イ ル 〓 を 生 命 と す る

牛 込 の 久 保 田

立 教 大 學 指 定 御 用 久 保 田 高 等 洋 服 店
牛 込 區 新 小 川 町 三 ノ 十 九 番 地

文 化 生 活 に は 御 洋 服
御 洋 服 な ら ば 清 水

清 水 洋 服 店

池 袋 常 盤 通 り 交 番 近
池 袋 九 〇 一 番 地